

令和6年度 第4回 竜禅寺小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月18日（火）15時00分から16時35分まで
- 2 開催場所 竜禅寺小学校 会議室
- 3 出席委員 北井 実香、寺田 成一、松本 直己、加藤 京子、
高須 道男、柳川 春彦、鈴木 宏幸、青島 早苗
- 4 欠席委員 新井 和美
- 5 オブザーバー 加藤 晴康（南部協働センター所長）
- 6 学 校 谷野 幸代（校長）、佐々木和也（教頭）、石塚 智香（CS 担当教員）
坂口 陽介（生徒指導）、近藤 仁志（教務主任）
中村 朝実（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 中村 朝実（CS ディレクター）
- 9 議長の選出

議長の選出について、高須委員より青島副会長を推挙する旨の発言があり
全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

（1）学校関係者評価

- ・学校評価の結果、成果と課題
- ・「竜禅寺小学校いじめ防止基本方針」について

（2）令和7年度 学校運営の基本方針について

（3）学校運営協議会の自己評価

（4）夢育やらまいかCS加算分の報告

11 会議記録

司会より委員総数9名のうち8名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価

教務主任より学校評価の報告、生徒指導よりいじめの基本方針と認知件数の報告があり、委員からは以下の発言があった。

- ・162件中50件が昨年度からの引き継ぎということだが、いじめの件数はどのように把握しているのか。

相手側が「いじめ」と受け取るケースもあるのか。（松本委員）

→7割は「いじめアンケート」から把握している。2割は日々の生活の中での様子や連絡で、残りの1割は保護者からの連絡から把握している。年間3回は、アンケートの内容からの個別面談を実施している。（坂口）

- ・いじめから不登校になるケースもあるのか。（松本委員）

→不登校は、いろいろな要因が関わっている。（坂口）

- ・深刻ないじめはあるのか。（加藤委員）

→法律の解釈が変わっている。「深刻な・・・」についても、「重大事態」とい

う表現がある。重大事態に関するものは第三者が入り対応していく。現段階では本校はない。ただ、重大事態でなくてもしっかりと対応している。

(坂口)

- ・ いじめの男女の割合は？学年によってもいじめの認知件数に違いはあるか。(鈴木委員)

→同性同士も男女が交ざったいじめもあるし、学年をまたぐものもある。

(坂口)

- ・ 教師からのいじめはあるのか。(松本委員)

→体罰アンケート・不適切な言動のアンケートでは本年度はなかった。

(校長)

- ・ いじめをされた側、した側の保護者はそのことを知っているか。スマホやSNS等のトラブルもあるのか。(青島委員)

→双方の保護者に連絡をしている。いじめ対応は学校、家庭が連携してやっていく。SNSやスマホについても、保護者と連絡を取りながらやっている。(坂口)

- ・ ソーシャルスキルについては、どんなことをやるのか。(北井委員)

→挨拶の練習や、思いやりについて相手を思い遣った言動、行動を実際にやっているいろいろなスキルを身に付ける。(坂口)

- ・ 良い評価になっている。学力はどのくらいか。(高須委員)

→学力は市や県と同程度。自尊感情は高い。(近藤教務主任)

- ・ 人を育てる力と学力もとれていて、とてもいいバランスだと思う。竜禅寺小の子は挨拶もできる。(高須委員)

- ・ 挨拶については、旗振りの人や学校など決まった所での挨拶はできる。そうでないところでは、挨拶はなかなかできていない。(柳川委員)

- ・ 白脇小の子は、大人数で帰って来て元気な挨拶ができています。一人で歩いている子は挨拶しにくいかもしれない。(鈴木委員)

- ・ 知らない人に声を掛けられるのを嫌がる保護者もいるので、あまり声掛けはしていない。(寺田委員)

(2) 令和7年度 学校運営の基本方針について

校長より令和7年度学校運営の基本方針の説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ グランドデザインが大きく変更した。分かりやすくなった。知・徳・体が明記されて非常に良い。竜の子宣言も入って分かりやすい。体育科授業の充実とは、何をするのか。(松本委員)

→プロの方に来てもらったり、外部人材の活用をしたりしていきながら、担任も授業力を付けていきたい。(校長)

- ・ 社会に出ると競争心が必要になる。他人と比べるのではなく、自身の成長に目を向けた自己との競争について児童に教えていけるといい。また、生活習慣の見直しで食育が必要になるが、学校での取組を教えてほしい。(松本委員)

→給食委員会が給食の残食を量り、データを表にして掲示し、児童が意識できるようにやっている。(校長)

- ・目標に向かって粘り強く続けていくことが必要であり、自分で決めたことを継続的にやっていくことが大切。目標に達したときに子供は喜び、大人も褒めてあげれば更に意欲が高まる。

体育で1つのことを継続していくことをやっていくのはどうか。(高須委員)

→縄跳びなど、目標が立てやすいものを継続していくのもよい。(校長)

- ・縄跳びも、マラソンも昔は学校で取り組んでいた。(加藤委員)
- ・スポーツテストも目標になる。縄跳びカードを用い、目標を達成するためには何が必要か児童一人一人が考えていくことができる。今までのキャリア教育の年間計画は今後、どう取り扱っていくのか。(鈴木委員)

→年間計画は児童が、見通しが持てていい。継続していきたい。(校長)

(3) 学校運営協議会の自己評価

教頭より学校運営協議会の自己評価についての報告があった。

(4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

教頭より夢育やらまいかCS加算分の報告についての報告があった。

その他連絡・報告事項

- ・1年生 生活科「昔の遊び」のボランティアの実施(柳川委員)
 - ・4年生 社会科「龍禅寺町屋台小屋の見学」の実施(鈴木委員)
- どちらも継続。

- ・市の地域力向上事業「ブレス浜松との交流」の実施(加藤所長)
 - ・令和7年度「クラブやボランティア活動」への参加(加藤所長)
- 新規に実施の方向で調整。